

ディベート・マッチ「中学生の携帯電話」～最終弁論～

「中学生は携帯電話をもってもよいか」〈肯定側〉最終弁論

これから肯定側の最終弁論を始めます。反対尋問を終えてからも、私たちの意思は全く変わっていません。

その理由として、携帯電話のおかげで助けられた人がおり、事件が早く解決するということが実際にあるからです。中学校に入学し、小学校のときよりも2時間以上遅い帰宅になっています。その一方で不審者の出沒は、私たちと遠い話とはとても言えません。不審者に会ったときに、助かったとしましょう。しかし、その不審者がそんなことを繰り返すことがあります。でも、そのとき携帯電話を持っていたらどうなりますか。逃げ切った直後なら、犯人はそう遠くに行っていないし、検問をはることだってできます。そのときに通報すればよいのです。被害者が出ないようにするためには携帯電話が必要なのです。

また、子どもに携帯電話を持たせると安心するという親は、何と60%にも及びます。その理由のほとんどは、「いつでも連絡をとることができる」ということです。

このような事実がある以上、携帯電話は必要なものになりつつあります。子どもに持たせるかはその家庭の自由ですが、もし、子どもに携帯電話を持たせたとしても、決して悪いことではないのです。

以上で肯定側の最終弁論を終わります。ありがとうございました。

「中学生は携帯電話をもってもよいか」〈否定側〉最終弁論

これから否定側の最終弁論を始めます。否定側が「中学生は携帯電話を持つべきではない」と主張する理由を説明します。

まず最初の理由について説明します。それは、中学生はあまり使い道がないのに持っている遊びにからです。そのことは、悪質なメールやサイトが多く見られる現在のマナーを無視した携帯電話の使い方の状況からも言えると思います。そして、もしも遊び半分で持っていたとしたら使い道もないのに、ただしゃべるだけで終わると思います。そしたら、お金だけがどんどんムダになっていってしまいます。やはり、そのことから親に迷惑をかけます。ただでさえ親に迷惑をかけているのに、携帯で使うようなお金まで払わせるとなると、親もどんどん困ってくると思います。

もう一つの理由は、携帯で長話やメールなどで面と向かって話さないために、人と人とのコミュニケーションがあまりとれなくなるということです。今は、昔よりも人とのつながりが少なくなっているのに、ただの長話で人とのつながりをなくすより、ちゃんと会って話をした方が、お金もかからず気持ちも伝わると思います。これこそまさに一石二鳥なのではないでしょうか。私はそう思います。

また、中学生は全員が携帯を持っているというわけではないので、持っている人と持っていない人に分かれて仲間はずれや差別が出てくると思います。そうすると、いじめなどの深刻な問題につながっていくと思います。だから、携帯電話を中学生が持つことは、やはりいけないと思います。

このようなことから、否定側は「中学生は携帯電話を持つべきではない」と考えます。これで説明を終わります。